

KUISデータサイエンス・AI基礎教育プログラム 2025年度 自己点検・評価報告書

自己点検・評価の視点		自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等				
学内からの視点						
プログラムの履修・修得状況	【外国語学部】					
	(履修・修了者数の状況)		2023年度 入学者	2024年度 入学者	2025年度 入学者	
	各年度の 新規 履修者数	2023年度	92	—	—	
		2024年度	24	62	—	
		2025年度	18	33	42	
		計	134	95	42	
	各年度の 新規 修了者数	2023年度	—	—	—	
		2024年度	51	—	—	
		2025年度	18	33	—	
		計	69	33	—	
修了率		51.4%	34.7%	—		
※制度上、修了は2年次より可能						
・2025年度の入学者数は1023名と増加したが1年次の履修者数は2024年度の62名から42名へと減少している。(過年度入学者数は2023年度914名／2024年度921名)。一方2年次の履修者は、24名から33名に増加した。2025年度は新年度ガイダンスの資料でプログラムの紹介動画や紹介スライドを共有したものの、新入生へのプログラムの周知の手段は今後も改善していくべきかと思われる。						
・2023年度入学者のプログラム修了率は51.4%となり昨年度の修了率44%と比較すると継続的に履修し修了している学生がいることが伺える。一方2024年度入学者の修了率は34.7%にとどまる。2023年度、2024年度入学者ともに、既に4科目修得しているものの資格登録を行っていない学生もいるので、これらの学生にはポータルサイト等を通じ資格登録の周知を引き続き行う予定である。						
	【GLA学部】					
	(履修・修了者数の状況)		2021年度 入学者	2022年度 入学者	2023年度 入学者	2024年度 入学者
	各年度の 新規 履修者数	2023年度	3	3	—	—
		2024年度	3	11	9	—
		2025年度	1	8	1	12
		計	7	22	10	12
	各年度の 新規 修了者数	2023年度	3	2	—	—
		2024年度	3	11	6	—
		2025年度	1	7	3	11
		計	7	20	9	11
修了率		100.0%	90.9%	90.0%	91.6%	
※本プログラムは2023年度より開設						
※カリキュラム上、プログラムの履修は2年次より						
・2024年度入学者数は66名と2023年度入学者数とほぼ同数だが、2年次(プログラム履修可能年次)履修者は12名で、2023年度入学者の2年次履修者数9名と比べ増加しており、プログラムの周知が進んでいることが伺える。(過年度入学者数は2021年度59名／2022年度81名／2023年度67名)						
・全ての年度の入学者のプログラム修了率が90%以上となっており、学生は本プログラムで身につく力を順調に修得することができている。						
学修成果	2025年度のプログラム修了者を対象としたアンケートにおいて、本プログラムで身につく5つの力が「身についた」「ある程度身についた」と回答した学生の割合は以下の通り。					
	1. デジタル情報やAIの特性を説明することができる			90.9%		
	2. データやAIが社会の中でどのように活用されているかを説明することができる			72.7%		
	3. 適切なツールを用いて具体的なデータの処理・分析を行うことができる			72.7%		
	4. 具体的なデータを分析した結果を他者に説明することができる			90.9%		
	5. データやAIの活用におけるリスクや留意事項を説明することができる			90.9%		
	いずれも7割以上となっており、本プログラムが目指す学修成果をあげることができていると考えられる。ただし、データやAIの実践的な活用に関わる項目(2・3)の割合がやや低い点については今後の推移を注視する。					

学生アンケート等を通じた 学生の内容の理解度	各科目の授業評価アンケート結果は以下の通り。 【外国語学部】 内容を「理解できた」「まあまあ理解できた」と回答した学生の割合（括弧は2024年度の結果） 基礎演習Ⅰ：89.6%（84.2%） 基礎演習Ⅱ：86.9%（72.5%） 【GLA学部】 到達目標を達成できたかについて「そう思う」「ややそう思う」と回答した学生の割合（括弧は2024年度の結果） デジタル・シチズンシップ論：97.1%（92.5%） 数的思考法：98.3%（96.6%） データ・サイエンス概論：100%（72.2%） 統計学Ⅰ：96.8%（88.5%） 統計学Ⅱ：95.6%（100%） いずれの科目においても多くの学生がその内容を理解できていると考えられる。また、データ・サイエンス概論や統計学Ⅰでは昨年度と比較して学生の理解度が向上している。
学生アンケート等を通じた 後輩等他の学生への推奨度	2025年度プログラム修了者を対象としたアンケートでは、「本プログラムの履修を他の学生や後輩に推奨したいか？」との質問に対して90.9%の学生が「そう思う」「ややそう思う」と回答している。 また、授業評価アンケートにおいて、各科目の総合評価として「評価する」「ある程度評価する」と回答した学生の割合は以下ようになっており、いずれの科目も学生からの高い評価を得ている。 これらのことから、本プログラムの履修について他の学生にも推奨されることが期待できる。 （括弧は2024年度の結果） 【外国語学部】 基礎演習Ⅰ：92.6%（100%） 基礎演習Ⅱ：92.0%（85.6%） 【GLA学部】 デジタル・シチズンシップ論：97.1%（100%） 数的思考法：100%（96.6%） データ・サイエンス概論：100%（94.4%） 統計学Ⅰ：98.4%（93.1%） 統計学Ⅱ：100%（100%）
全学的な履修者数、履修 率向上に向けた計画の達 成・進捗状況	昨年度より行っている学生用ポータルサイト、大学ホームページ、各授業における担当教員からの情報提供に加え、2024年度からは新年度のガイダンスでも周知を行っている。修了者アンケートでは新年度ガイダンス資料からこのプログラムを知ったという回答も見られるため、一定の効果があると思われる。今後も継続的にガイダンスや学期始めの案内を実施し、履修者増につなげていく予定である。
学外からの視点	
教育プログラム修了者の 進路、活躍状況、企業等 の評価	2025年度に卒業した修了生18名のうち、2名は情報・通信系企業へ就職し、学修した内容に直結する進路を選択している。また、他業界へ就職した卒業生についても、9名が総合職に就いており、学修した内容を多方面で発揮できる職種に従事している。本プログラムで学んだ知識や身につけた能力は、こうした進路においても十分に活かされているものと考えられる。
数理・データサイエンス・AIを 「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意 義」を理解させること	2025年度プログラム修了者を対象としたアンケートでは、81.8%の学生が、プログラムを通じてデータサイエンス・AIについて学ぶ楽しさや意義を感じた「やや感じた」と回答している。また、「プログラムで学んだことは将来の進路や社会人生に活かすことができそうか？」との質問に対しては100%が「そう思う」「ややそう思う」と回答している。 これらのことから、多くの学生が「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を感じていると考えられる。
内容・水準を維持・向上しつ つ、より「分かりやすい」授業と すること	授業評価アンケートの「教員の説明は分かりやすかったか」という質問に「そう思う」「ややそう思う」と回答した学生の割合は以下の通り。（括弧は2024年度の結果） 【外国語学部】基礎演習Ⅰ：92.1%（90.4%） 基礎演習Ⅱ：93.0%（90.9%） 情報基礎Ⅰ：82.0%（82.0%） 情報基礎Ⅱ：90.5%（84.9%） 【GLA学部】デジタル・シチズンシップ論：100%（100%） 数的思考法：100%（100%） データ・サイエンス概論：100%（83.3%） 統計学Ⅰ：95.2%（93.1%） 統計学Ⅱ：100%（100%） いずれの科目も昨年に引き続き水準が高い状態が維持できている。学生からの質問が多かった点などはその教授方法について随時見直しを行う。